

# 名古屋都心部まちづくりビジョン（案）

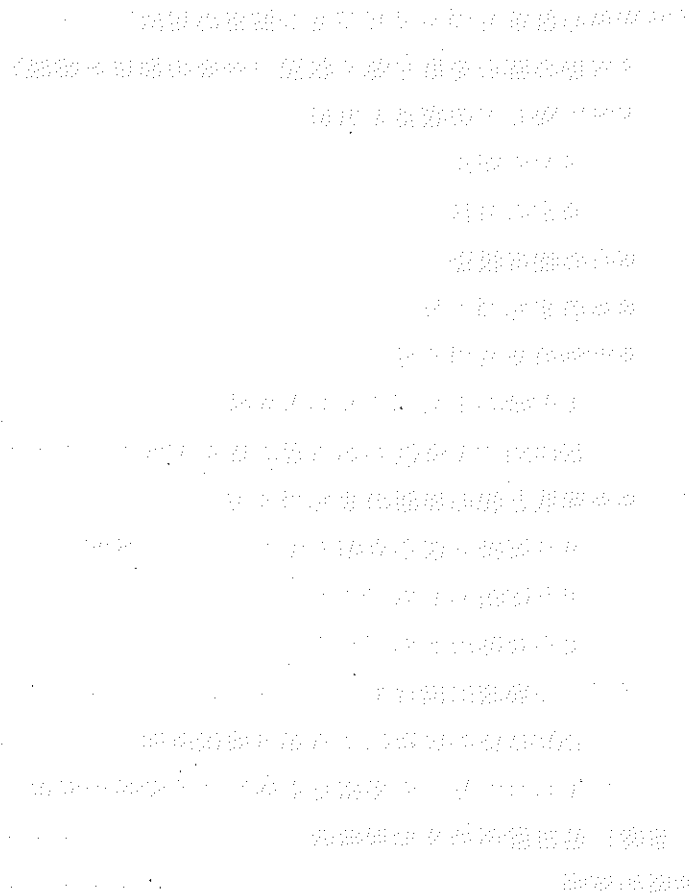
## ～ 目 次 ～

名古屋都心部まちづくりビジョン策定の目的	1
1. 名古屋の都心を取り巻く状況（今後の展望と課題）	2
2. 策定に際しての視点と方針	6
(1) 策定の視点	
(2) 策定の方針	
3. 都心の都市構造	10
4. 拠点のまちづくり	12
5. 都市軸のまちづくり	16
(1) 都市軸のまちづくりの方向性	
(2) 個性的で多様性のある都心部を実現するための主たる都市軸の将来像	
6. 拠点連携と都心界隈のまちづくり	19
(1) 拠点連携と都心界隈のまちづくりの概要	
(2) 拠点連携のまちづくり	
(3) 都心界隈のまちづくり	
7. ビジョン実現に向けて	23
(1) 民間投資の促進による都市機能誘導	
(2) まちづくりへの多様な主体による参画の促進	
（参考）名古屋市の主な取組み	24
用語の解説	25

## 名古屋都心部まちづくりビジョン策定の目的

名古屋の都心は、2027年度にリニア中央新幹線の開業を迎えることにより、名古屋大都市圏の中核としての重要性がこれまで以上に増すこととなります。新たな時代を迎えるにあたり、これからは魅力と活力にあふれた名古屋の都心であるために、そして名古屋大都市圏を超えてスーパー・メガリージョンのセンターとして日本の成長エンジンとなるためには、官民協働によるまちづくりへの取組みを速やかに進めていくことが必要となります。

このため名古屋市では、行政と民間で共有できる都心部の将来像として、また、都心部を対象として策定された各種のまちづくり計画・構想を総括するものとして「名古屋都心部まちづくりビジョン」を公表することといたしました。



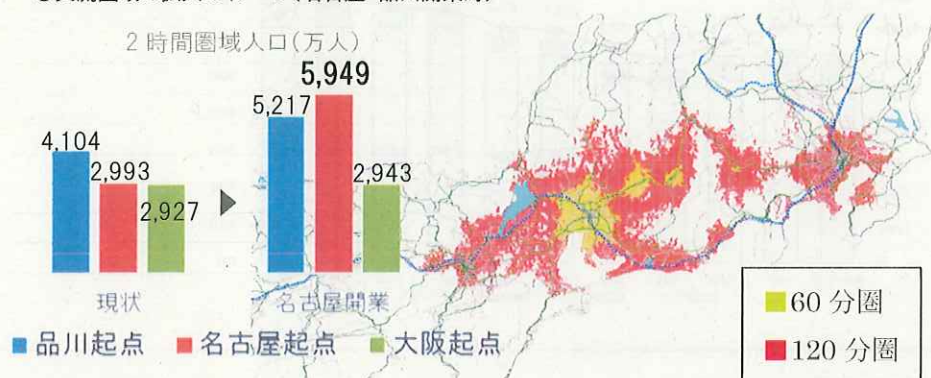
# 1. 名古屋の都心を取り巻く状況（今後の展望と課題）

## （1）リニア中央新幹線の開業、スーパー・メガリージョンの形成

リニア中央新幹線の開業により、東京・名古屋・大阪の三大都市圏が一体となった世界有数のスーパー・メガリージョンが形成され、これからの日本の成長エンジンとなることが期待されています。これに伴い、名古屋の都心についても圏域の中核としての役割がより一層重要となります。

三大都市圏それぞれの交流圏域も大きく拡大し、とりわけ名古屋駅を起点とした2時間圏域人口は約6,000万人と最大規模になると試算されています。広域交流圏の誕生により、国内外からの来訪者が増加することから、名古屋の都心における交流人口の増加も予想されますが、その一方でストロー現象を最小限に抑えることも必要になります。

●交流圏域の拡大のイメージ(名古屋-品川開業時)



MarketAnalyzer  
www.marketanalyzer.jp

出典 三菱UFJリサーチ&コンサルティング リニア時代の国土創生(2018年11月)を基に作成

## （2）産業構造の転換（自動車産業における変革）

IoT、AIなどの技術革新、各分野におけるイノベーションの加速度的な進展、新産業の登場などにより、新たな社会の実現が可能になり、私たちの働き方や暮らし方が大きく変わろうとしています。

特に自動車産業に関しては、「自動運転社会の到来」、「動力源の電動化」、「保有からシェアリングへのシフト」、「IoTとの連携」といった潮流のただ中にあり、自動車産業をはじめとする輸送用機械を主体とした「ものづくり産業」の中心である圏域の産業構造や就労構造に劇的な変化をもたらす可能性があります。このため、圏域の中核である名古屋の都心においても、産業・社会構造の変化への対応が急務となっています。

●自動車産業を取り巻くメガトレンド(CASE)



出典)経済産業省の自動走行とデジタルガバナメントに向けた取組(経済産業省)

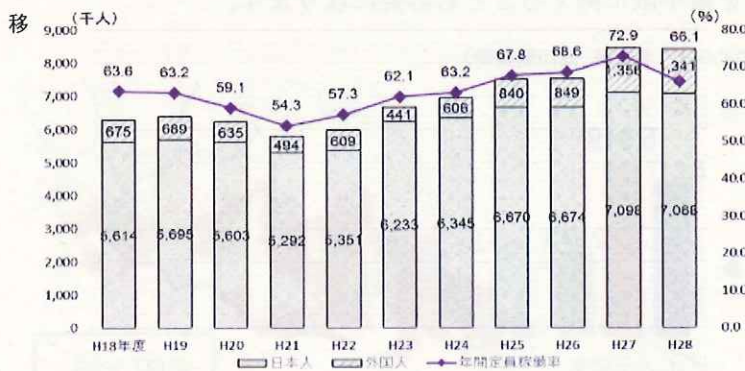


### (3) 観光需要の高まり

訪日外国人旅行者数の推移は2014年度から急速に増加しており、2030年の目標は6,000万人となっています。名古屋市においても、訪日外国人の増加に伴い外国人宿泊客数の増加も顕著となりつつあり、市内の宿泊施設の収容人数や稼働率は2009年度から少しずつ上昇しています。

しかしながら、これまでのところ名古屋市における外国人宿泊者数の絶対数については、他都市と比較すると少ない状況が続いており、インバウンド消費も東京都の10分の1以下の水準となっています。名古屋が外国人観光客に選ばれる目的地となるためには、**都心部の一層の魅力向上が必要です。**

●名古屋市における宿泊施設の宿泊客数 延べ人数の推移



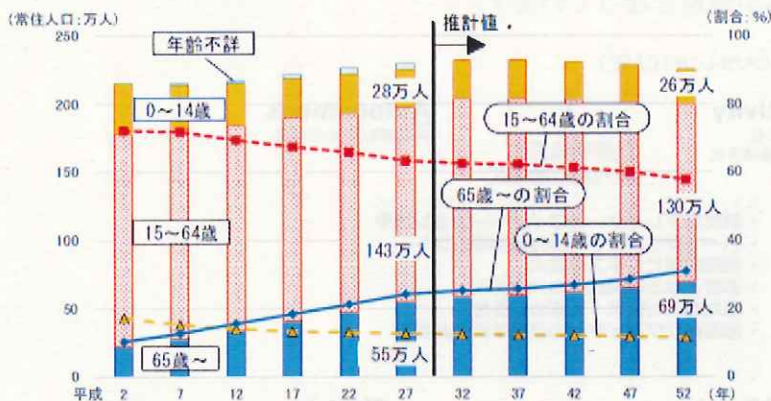
出典)名古屋市観光客・宿泊客動向調査

### (4) 人口構造・動態の変化

少子高齢化社会の進展に伴い、東海三県全体としての人口は既に減少局面に入っています。名古屋市においても、2022年頃から人口は減少に転じると推計されています。また、年少人口及び生産年齢人口の構成比率が低くなり、ますます高齢者人口の比率が高まるものと予測されています。一方、外国人人口は増加傾向にあり、特に名古屋の都心(中村区、中区)においては、その傾向が顕著になっています。

このように人口構造が大きく変わりつつある状況下において、高齢者にとっては生活利便性の高さの面で、若年層にとっては就労先の集積状況の面で、名古屋の都心は**都市型ライフスタイルを実現することの重要性**が高まるものと考えられます。

●名古屋市の年齢3階級別人口



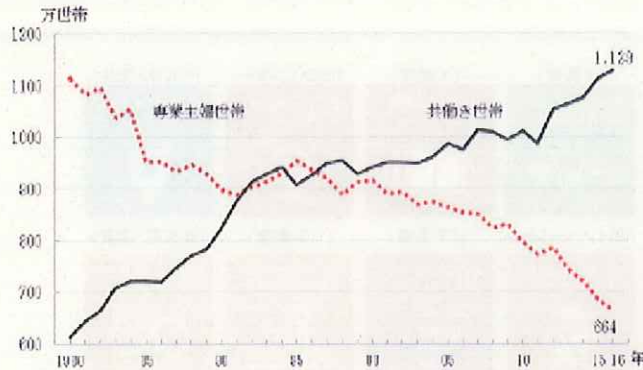
出典)実績値: なごや web 版、推計値: 国立社会保障・人口問題研究所

## (5) 価値観や働き方等の多様化

女性の社会進出や共働き世帯数の増加、時間や場所にとらわれないテレワークを実施している企業が年々増えつつあるなど、働き方が多様化しつつあります。また、インターネットショッピングの普及やシェアリング・エコノミーの規模拡大、都心部を中心とした単身世帯の増加など、消費行動や暮らし方も同様に多様化しつつあります。こうした働き方や暮らし方の多様化により、働く場、消費・暮らしの場としての都心の役割が変化しつつあります。

働き方、暮らし方が多様化すれば価値観も多様化します。「誰もが自分らしく暮らせるまち」がこれまで以上に求められています。

●全国の共働き世帯の増加



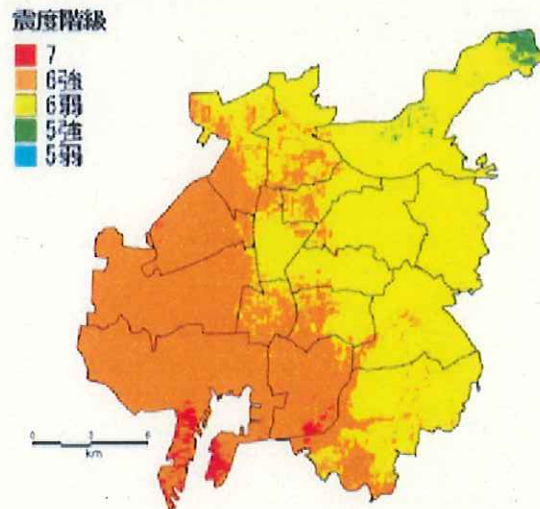
出典)国勢調査(総務省)

## (6) 激甚化する自然災害

南海トラフにおいて、マグニチュード8~9クラスの地震が発生する確率は、30年以内に70%~80%と予測されています。また、地球温暖化の進展に伴い、記録的な豪雨が発生する頻度も顕著に高まっています。

圏域の中核を担う都市機能が集積した名古屋の都心が被災した場合、圏域のみならず、広範囲に影響を及ぼすおそれがあると予想されます。このため、災害に対する都市の強靱化や発災時の帰宅困難者対策等が課題となっています。

●あらゆる可能性を考慮した最大クラスの震度分布



出典)南海トラフ巨大地震の被害想定について-震度分布、津波高等-(名古屋市)



## (7) 都市の持続性に対する意識の高まり (SDGs 等)

気候変動対策や海洋資源の保全などの環境問題への取り組みや、貧困やジェンダーの問題に対する平等で包摂性のある社会の実現への取り組みなど、様々な分野において、SDGs 等に基づいた**持続可能な世界の実現に向けた意識**が高まっています。まちづくりの分野においても、これからの都市のあるべき姿として、いつまでも住み続けることができるための取り組みが求められています。

特に大規模な建築物が集中し、またリニア中央新幹線の開業により、多くの人々が訪れることとなる名古屋の都心においては、低炭素や省エネルギーなど様々な側面において環境に配慮したまちづくり、全ての人を受け入れることができる包摂性のあるまちづくりが必要です。

### ●持続可能な開発目標(SDGs)



ロゴ：国連広報センター作成

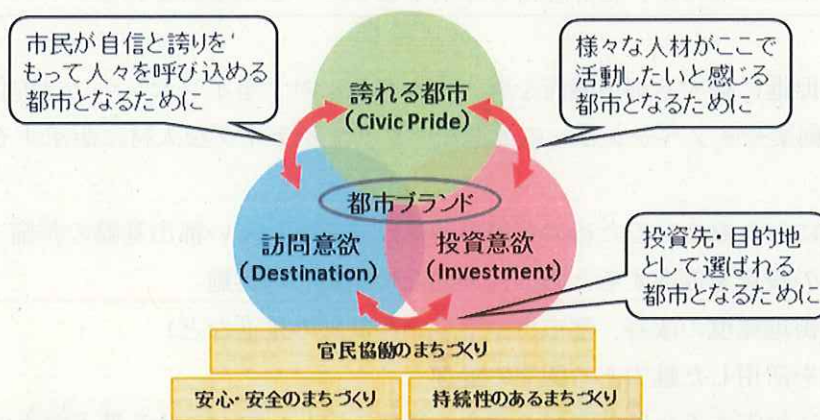
出典)外務省資料

## 2. 策定に際しての視点と方針

### (1) 策定の視点

前頁までで確認した「名古屋の都心を取り巻く状況」に基づき、これからの都心部のまちづくりに必要な視点を次のように設定します。

- 1) スーパー・メガリージョン形成による効果の最大化
- 2) 技術革新によってもたらされる産業構造の変化への対応
- 3) 来訪者を増やし交流を促進させる都市の魅力づくり
- 4) 圏域の中核機能と調和した都市型ライフスタイルの提示
- 5) 多種多様な市民活動のステージとなる都市環境の構築
- 6) 大規模災害に備えた都市の防災性能・災害対応力の強化
- 7) 持続可能なまちづくりの推進



### (2) 策定の方針

策定の視点に基づき、都心部の都市構造、地区別・要素別のまちづくりビジョンに共通する3つの方針を設定します。

方針1 国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備

方針2 訪れたいまちを実現する都市魅力の向上

方針3 利便性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現

## 方針1 国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備

### (将来像) 世界中から多様な人々を呼び込みイノベーションを創出するまち

- ・リニア中央新幹線の開業により、名古屋の都心と東京が40分で結ばれ、スーパー・メガリージョンの中心に
- ・セントレアとも直結した名古屋都心部は、名古屋駅を中心として大交流圏を形成
- ・国内外から多種多様な職種・立場のビジネスパーソンやクリエイティブな人材が集まり、交流が促進
- ・新たなアイデア・価値を生み出す人材の集積や、ベンチャー企業、研究機関等の立地が加速し、従来からの圏域の強みであるものづくり技術と結びつくことにより、イノベーションを創出
- ・老朽建物の更新や災害発生時の帰宅困難者対策が推進され、災害への対応力が向上
- ・名古屋都心部は日本のみならず、世界経済を牽引するまちへと生まれ変わる

### (実現に向けて)

- ・多様な人材の交流促進に資する都市機能を導入する開発に対するインセンティブの付与
- ・ベンチャー企業の創業やイノベーションの促進などクリエイティブな人材に訴求するまちづくりの推進
- ・リニア効果を圏域に行き渡らせるための広域交通拠点にふさわしい都市基盤の整備
- ・民間によるまちへの投資を促進するための合理的な規制緩和の実施
- ・都市の強靱化（市街地環境の改善、都市再生安全確保計画の推進など）
- ・低未利用な公有地を活用した魅力ある開発の促進
- ・都市間競争の激化に対応するための圏域の有する特性・強みを向上させる都市機能の集積



## 方針2 訪れたいまちを実現する都市魅力の向上

### (将来像) 快適な都市空間に訪れる人々の賑わいが広がるまち

- ・再生された久屋大通公園では様々なイベントが開催され、国内外から多くの人々が栄地区を来訪
- ・道路空間が歩いて楽しい歩行者優先のみちへと再配分され、環境にやさしい快適なまちになるとともに、名古屋都心部を訪れる人々の賑わいがまち全体に展開
- ・安全で快適な地下街を形成し、周辺のビルと接続することにより、地上と地下が連続した立体的な賑わいを創出
- ・インバウンド需要から国際会議まで対応できる様々なグレードのホテルが立地
- ・利便性の高い新たなモビリティの導入や、自転車利用環境の向上により、都心の回遊性が向上
- ・名古屋城などの歴史資産、劇場や美術館などの文化施設、人気の名古屋めしなど、名古屋ならではの魅力を味わいつくせる都心部へと変貌

### (実現に向けて)

- ・来訪者を受け入れるラグジュアリーホテルやゲストハウス等、多種多様な宿泊・交流機能の強化
- ・ゆとりある都市空間と豊かな緑を活かした都市景観形成による風格ある都市の表情の創出
- ・民間事業者による建築更新等の機会を捉えたホールやイベントスペース等の機能の誘導
- ・文化、歴史資産活用によるまちのストーリーの見える化によるまちの多様性の向上
- ・拠点間での界隈性の創出やネットワークの強化による回遊性の向上
- ・名古屋駅周辺や久屋大通等の公共的空間の再編・再生・創出
- ・道路空間の再編による歩行者・公共交通主体の都市空間への転換

### 方針3 利便性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現

#### (将来像) ゆとりを楽しむ名古屋ならではの洗練された都市生活を満喫するまち

- ・ユニバーサルデザインの推進などにより、道路・公園などの公共空間が一層洗練された空間として再編・創出され、エリアマネジメント活動など様々な市民活動が活発化するとともに、世代間の交流も促進
- ・誰もが自分らしく生活・活動できる、様々な価値観やライフスタイル等を受け入れる多様性のある都市を構築
- ・緑あふれる大規模公園や堀川などの水辺空間では、多くの市民がゆったりとした時間を満喫
- ・市民にとってのハレの場となる高級ブランド店や美しい夜景を楽しめるレストランなど、都心ならではの商業施設が集積
- ・利便性とゆとりを楽しむ「名古屋ライフスタイル」がより一層洗練されることで、都市生活の理想像を名古屋都心部が実現

#### (実現に向けて)

- ・市民の憩いの場となる大規模公園や堀川などの水辺空間等のグリーンインフラの保全・活用
- ・エリアマネジメント等のまちづくり活動の場となる公共的空間の再編・創出や利活用の推進
- ・市民生活の利便性に資する商業施設や教育・医療・保育・福祉施設などの都市機能集積の維持向上
- ・ワンランク上の都市生活を体感できるハレの場の演出
- ・官民連携して全ての人を受け入れることができる多様性のある都市の姿の実現
- ・緑化の推進など環境に配慮した開発計画へと誘導することによる良好な都市環境の創出(ヒートアイランド対策等)
- ・地域交流活動の促進のための施設導入によるコミュニティの維持



### 3. 都心の都市構造

名古屋の都心に限らず、都市は駅前など都市機能が高度に集積した「拠点」、主要幹線道路などの「都市軸」など、様々な要素から成り立っています。そして、これらの要素が組み合わさることによって都市はある種の「構造」として機能していると考えられます。


このため、本ビジョンにおいては、名古屋の都心の都市構造を要素ごとに捉え、それぞれの要素ごとにまちづくりのビジョンを策定します。


(都市構造図)




<p>都心ゾーン</p>		<p>広域的な交通網と結節し鉄道密度の高い地域 (おおむね J R 中央線・東海道線、出来町通などで囲まれる範囲で名古屋駅周辺等を含む範囲)</p>
<p>(まちづくりの方向性)</p> <p>広域交通の結節点としてのゲート性の演出、特色ある境界の保全や都心居住による職住近接の推進、エリアマネジメントなどの地域まちづくり活動の支援、イノベーション拠点の形成など、市域の中心部にふさわしい多様性のあるまちづくりを進める。また、防災・環境への配慮、開発と保全のバランスにも配慮する。</p>		
<p>都心部</p>		<p>都市機能が集積している名古屋駅・伏見・栄地区を中心として官庁街のある名城地区及び大須地区まで含む区域</p>
<p>(まちづくりの方向性)</p> <p>土地の高度利用や都市機能の更新、イノベーションの創出を図ると同時に、那古野地区の四間道をはじめとする個性的な境界においては、景観や地区の特性をしっかりと保全することにより、名古屋ならではの多様性ある中心市街地の形成を図る。</p>		



拠点		ある程度の広がりをもって都市機能が高度あるいは特徴的に集積したエリアとして、地域の特性を活かした名古屋の顔となるまちづくりを目指す地区
<p>(まちづくりの方向性)</p> <p>地域の特性を活かしたまちづくりを行うことにより、地区の名称を聞けば名古屋のまちの姿がイメージできるようなまちを目指す。名古屋駅地区、伏見地区、栄地区においては、特に重点的に民間投資の誘導を図る。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋駅地区 ～未来を体感し創造する交流のターミナル～</li> <li>・伏見地区 ～職・住・遊のプラットフォーム～</li> <li>・栄地区 ～訪れる人々が心を解き放つ都心のオアシス～</li> <li>・名城地区 ～歴史と文化に彩られた名古屋のまちづくりの礎～</li> <li>・大須地区 ～下町情緒とポップが交錯する庶民文化の象徴～</li> <li>・金山地区 ～交通拠点から交流拠点へ～</li> </ul>		

都市軸		都市の骨格を形成する主要な幹線道路及び河川・運河
<p>(まちづくりの方向性)</p> <p>沿道・沿線の低層階の店舗化、オープンカフェなどの公共空間の利活用、ウォークアブルな道路への空間再編、緑陰をつくる街路樹、良好な都市景観の形成等により、人の流れを生み出し都心各所を結び付けることにより、都市の賑わいの創出を目指す。</p>		

拠点連携		各拠点を有機的に結びつけることにより、都心部内の回遊性や都市機能を相乗的に向上させるための拠点間の連携
<p>(まちづくりの方向性)</p> <p>拠点間における複合的なまちづくり施策の展開によって都市の多様性や回遊性を高め、都市機能を相乗的に向上させるとともに、快適に移動できる交通手段も用意することにより、全ての来訪者にとって巡ってみたいくなるまちの実現を目指す。</p>		

※本ビジョンにおける「界限」とは、主要駅の周辺や幹線道路沿道と比べると土地の利用度は低いながら、歴史性や下町の風情など独自の個性・魅力をもったエリアのこととします。

※本ビジョンが主に対象としているのは都心部ですが、都心の都市構造の把握に際しましては、都心部に対する副次的な拠点としての位置づけとなる金山地区、及び金山地区を含めた都心ゾーンも記載しております。

## 4. 拠点のまちづくり

### ア 名古屋駅地区 ～未来を体感し創造する交流のターミナル～

①国内外から来訪する人々を迎え入れるターミナル駅をつくり、駅周辺の総合交通結節機能の充実と再編を図ることで、約 7,000 万人交流圏の交通拠点を形成します

(実現に向けて)

- ・リニアの速達性を最大限に活かすよう、鉄道及び道路ネットワークを強化し、名古屋駅へのアクセス性を向上させることで、名古屋大都市圏域及び圏域間における人的交流の円滑化を図ります。
- ・リニアを含む多様な交通モードの乗換えがスムーズにできるよう、駅前広場や地下空間の整備を進め、人を呼び込み、迎え入れる交通結節点としての機能を強化します。
- ・国内外から来訪する人々を迎え入れるターミナル駅として、ユニバーサルデザインなどに基づき、鉄道、自動車、タクシー、徒歩など全ての利用者が満足し、円滑な移動ができる空間を形成します。

②スーパー・メガリージョンの中心にふさわしい、多種多様な人材の交流を促進し、日本を支える新たな価値を生み出す、国際的・広域的な拠点・顔を形成します

(実現に向けて)

- ・新たな価値創造につながる、イノベーション施設や MICE 関連施設等の都市機能の集積を促進することにより、国際的・広域的なビジネス拠点形成を図ります。
- ・駅前広場やその周辺において、名古屋圏の魅力を伝える案内や文化発信の機能、来訪者の利便性向上に資する機能を強化・誘導し、ダイナミックな交流・もてなしの玄関口を形成します。また、リニア駅上部空間を活用し、人々が集い・憩い・交流する広場が中心にあるまちづくりを進めます。
- ・駅前広場や公共空間と沿道建物が一体となって、風格と都市の魅力を感じさせるシンボリックな都市景観の形成を図り、世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤにふさわしい空間をつくります。
- ・浸水対策や帰宅困難者対策、エネルギーの面的利用等、官民連携の取組みを推進し、安心・安全で環境に配慮したまちづくりを進めます。

③魅力ある地域資源を活かした多彩なまちをつくり、相互につなぐことで、一体性のある、歩きたくなるまちを形成します

(実現に向けて)

- ・城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様な地域資源の魅力を高め、地域のまちづくりを進めることで、多様で特色あるまちを形成します。
- ・回遊性の高い魅力ある歩行者空間の形成を図るため、快適性の高い歩行者空間の整備や緑化、魅力的な店舗の立地や滞留空間の形成等を行い、人々の賑わいを広げます。
- ・賑わいが駅からまちへ、まちからまちへつながるよう、駅前広場やその周辺環境づくりを進めます。
- ・都心全体の回遊性向上に資する多様な移動手段の発着地として、拠点の連携強化を進めます。

## イ 伏見地区 ～職・住・遊のプラットホーム～

① 芸術・文化施設、公園の緑や水辺空間、歴史的建造物などによって醸し出される芸術的・文化的な雰囲気を活かしたまちづくりを進めます

(実現に向けて)

- ・歴史的建造物の保存・活用や、公園の緑・水辺空間を活かしたまちづくりにより、落ち着いた街並みの形成を図ります。
- ・民間再開発等の機会を捉え、地区の特性を活かしたまちづくりや魅力資源の利活用を進めることにより、個性あるまちの表情を創出します。

② 良好な民間再開発の促進により、様々な都市機能と調和した都心居住を実現するとともに、地域住民によるまちづくり活動を支援します

(実現に向けて)

- ・市街地再開発事業等により、低層階の店舗化など都市の賑わいと調和した高質な住宅供給を促進するとともに、エネルギーの面的利用等、環境に配慮したまちづくりを進めます。
- ・民間再開発等による市街地整備とあわせてエリアマネジメント等の地域住民のまちづくり活動も支援することにより、低炭素モデル地区の形成など良好なまちの環境の保全を図ります。

③ リノベーションなどにより、意欲ある起業者の創業を促進し、業務機能が集積している従来からの地区の特性をより一層発展させます

(実現に向けて)

- ・空きビルのリノベーションなどによるスタートアップのための場づくりにより、起業に意欲のあるクリエイティブな人材による創業を促進します。



## ウ 栄地区 ～訪れる人々が心を解き放つ都心のオアシス～

①大規模公園をはじめとした公共空間を洗練されたゆとりあるシンボル空間として再生・活用することにより、エリアの賑わいを都心全体に広げます

(実現に向けて)

- ・久屋大通を都心のシンボリックな空間として整備するとともに、様々なイベントの場として活用することで、都心の情報発信力を強化します。
- ・メインストリートに面した建物低層部への店舗配置や溜り空間の設置、公園や通りと調和した景観形成により、公共空間と民有地が一体となった都市の賑わいを創出します。
- ・地下街や地下鉄駅などと地上の歩行者空間との連続性を強化することで、新たな人の流れを創出します。

②民間再開発の機会を捉え、様々な楽しみ方や働き方を提供する商業・娯楽・芸術・文化施設等やオフィス等の都市機能を導入し、多様な人材が集まる環境整備を推進します

(実現に向けて)

- ・商業・娯楽・芸術・文化施設等を導入する開発計画に対して、インセンティブを付与することにより、来訪者をもてなす集客施設の集積を図ります。
- ・イノベーションの担い手となるクリエイティブな人材にとって魅力となる、多様な働き方が可能となる快適性の高いオフィスや交流・共創の場の誘導を図ります。
- ・国際的な交流を促進するため、環境の良さを活かした都心型の MICE 施設や高質なホテルの誘導を図ります。
- ・防災対策・エネルギーの面的利用等、官民連携の取組みを推進し、安心・安全で環境に配慮したまちづくりを進めます。

③エリアごとの様々な特色を活かした多様性のあるまちづくりを進めることにより、名古屋らしさを感じられる都心の魅力を向上します

(実現に向けて)

- ・地域と一体となった安心・安全の取組みを進めるとともに、夜景の演出や夜間のイベント開催などにより、夜も楽しめるまちづくりを促進します。
- ・エリアマネジメント活動の促進により、地元の主体性を活かした魅力的なまちづくりを支援します。
- ・面的な低層階店舗の誘導やベンチなどの休憩施設の設置など、歩いて楽しい都市空間を創出し、エリア間の回遊性を高めます。
- ・中高層階に住宅を供給すべきエリアにおいては、立体的な都市機能誘導により、中枢機能と調和した都心居住を促進します。

## エ 名城地区 ～歴史と文化に彩られた名古屋のまちづくりの礎～

①名古屋のまちづくりの礎たる歴史・文化資産を様々な形でまちづくりに活用することにより、奥行きと多様性のある都市の姿を実現します

(実現に向けて)

- ・名古屋城天守や本丸御殿などの歴史性に加え、重要文化財である市庁舎等や豊かな緑を有する官庁街の落ち着きある雰囲気醸成することにより、名古屋都心部の奥行きと多様性を向上します。

②他の拠点との連携を強化することにより、観光拠点の賑わいを都心全体に広げることにより、都市の回遊性を向上させます

(実現に向けて)

- ・休日における官庁街のオープンスペースの利活用などにより、官庁街による人の流れの分断解消を図ります。

## オ 大須地区 ～下町情緒とポップが交錯する庶民文化の象徴～

①大須観音や万松寺などの歴史的な資源と古着屋などの個性的な店舗の集積した商店街の情緒を大切にすることで、都心の魅力に多様性と彩りを添えます

(実現に向けて)

- ・老朽化・空き家化した店舗のリノベーションなどにより、街の雰囲気を保全しつつクリエイティブな空間づくりを促進し、創業に意欲のある人材を集め、まちの活気の維持を図ります。

②コスプレやアニメなど「ポップカルチャーの聖地ナゴヤ」としてのブランド確立により、国内外から訪れる誰もが集い楽しめるまちの雰囲気を醸成します

(実現に向けて)

- ・手軽に様々なイベントが開催できるよう、まちなかに公開空地や広場などの小規模オープンスペースの整備を促進します。

## 5. 都市軸のまちづくり

都心部には 100m道路をはじめとする広幅員道路である「久屋大通」や「若宮大通」等の幹線道路が縦横に走っており、主要な移動経路としてだけでなく、その沿道において、商業・業務機能などが集まり都市の軸線を形成してきました。また、都心部の貴重な水辺空間である「堀川」「中川運河」などについても都市を貫く軸としてクローズアップしていく必要があります。主要幹線道路と河川・運河という都市の軸が賑わいというおいを創出する空間へと生まれ変わることで、都心部の魅力と機能をより一層向上することとなります。



### (1) 都市軸のまちづくりの方向性

#### ア 幹線道路と沿道のまちづくり

- ・ 都心部のシンボリックな通りを人に優しく歩いて楽しいみちへ道路空間の再配分
- ・ 沿道の民有地と一体となった快適な都市空間の整備による賑わいが連続した街並みの形成

(実現に向けて)

- ・ 各幹線道路の交通機能を踏まえた、過度に流入する自動車交通量の抑制
- ・ パークアンドライドの推進やフリンジ駐車場の活用による自動車の都心部への集中緩和
- ・ シンボリックな通りにおける車道から歩道への空間再編や次世代型公共交通への対応
- ・ 歩道上におけるベンチなどのストリートファニチャーの設置による歩行者の快適性向上
- ・ 低層階の店舗化などに対するインセンティブ付与による民間投資の促進により、民有地と一体となった賑わいを道路空間にも創出
- ・ 人にも優しく環境にも配慮した沿道環境とするため、シンボル並木の育成と民有地の緑化の推進



## イ 河川・運河沿岸のまちづくり

堀川・中川運河・新堀川の環境整備・水辺空間の魅力向上

(実現に向けて)

- ・水辺環境の魅力向上のための水質の浄化への取組み
- ・水辺空間におけるイベント開催など観光資源としてのクローズアップ
- ・河川・運河側に向けた店舗配置の誘導による河川・運河の表通り化
- ・親水空間の整備等による水辺空間の魅力向上
- ・河川・運河の沿岸におけるクリエイティブな場づくり
- ・水上交通の活性化

## ウ 道路・水辺での一体的な取組み

- ・沿道・沿岸の建物や広告物のデザイン誘導などによる良好な街並み・ファサードの形成や魅力的な夜景の創出
- ・道路や水辺空間の良好な維持管理に資する、地元まちづくり団体との連携強化、エリアマネジメント活動の支援



都市軸のまちづくりの推進により、各拠点の賑わいを都心部に展開し、都心部内の各エリアを結びつけることで、名古屋の都心を一定的な構造へ

## (2) 个性的で多様性ある都心部を実現するための主たる都市軸の将来像

### ア 幹線道路

広小路通	<p>「名古屋都心を象徴する東西軸」</p> <p>都心部の主要な拠点を結ぶ名古屋を代表する東西のシンボルストリートとして、現存する歴史的建造物やシンボル並木を含めた良好な都市景観の形成と快適な歩行者空間の整備により、平行する錦通と連携して賑わいあふれる快適な街の表情をつくります</p>
名駅通	<p>「名古屋の顔となる駅前の交流軸」</p> <p>高次の都市機能の集積により、賑わいの連続性を図るとともに、名古屋の顔となる駅前のメインストリートとして、圏域の玄関口にふさわしい風格のある街並みをつくります</p>
久屋大通	<p>「緑豊かな開放感あふれる南北軸」</p> <p>栄地区の象徴たる緑豊かな久屋大通公園を含む南北のシンボルストリートかつエリア有数のイベント空間として、沿道の土地利用と一体となった開放感にあふれた都市空間を形成し、街を訪れる人々に憩い・潤いと楽しさを提供します</p>
大津通	<p>「トレンドの先端をゆく魅力発信軸」</p> <p>歩行者天国も実施される圏域屈指の賑わいあふれる通りとして、洗練された魅力的な店舗が連続した、老若男女誰もが楽しめる賑やかな街並みをつくります</p>
桜通	<p>「ターミナル駅の正面に位置する景観軸」</p> <p>名古屋駅の正面に位置する特性を活かし、名古屋に降り立った来訪者が最初に目にする名古屋の風景として印象に残るファサードを形成します</p>
本町通	<p>「名古屋城下町の歴史をたどる回遊軸」</p> <p>名古屋城と熱田を結ぶ旧街道に由来する通りとして、名古屋の歴史を感じながら都心を回遊できる仕掛けをつくります</p>
三蔵通	<p>「起業意欲と感性を刺激する創造軸」</p> <p>都心部の主要なビジネス拠点を結ぶ通りとして、起業意欲を促し、クリエイティブな人々を刺激する創造性豊かな雰囲気をつくります</p>

### イ 河川・運河

堀川・ 中川運河・ 新堀川	<p>「都心の水の魅力軸」</p> <p>都心部における貴重な水辺空間として、水質の浄化などにより、都市環境の快適性を向上するとともに、水域・沿岸でのイベント開催、水上交通、夜景の演出、沿岸の景観整備などにより魅力的な都市空間を創出します</p>
---------------------	---

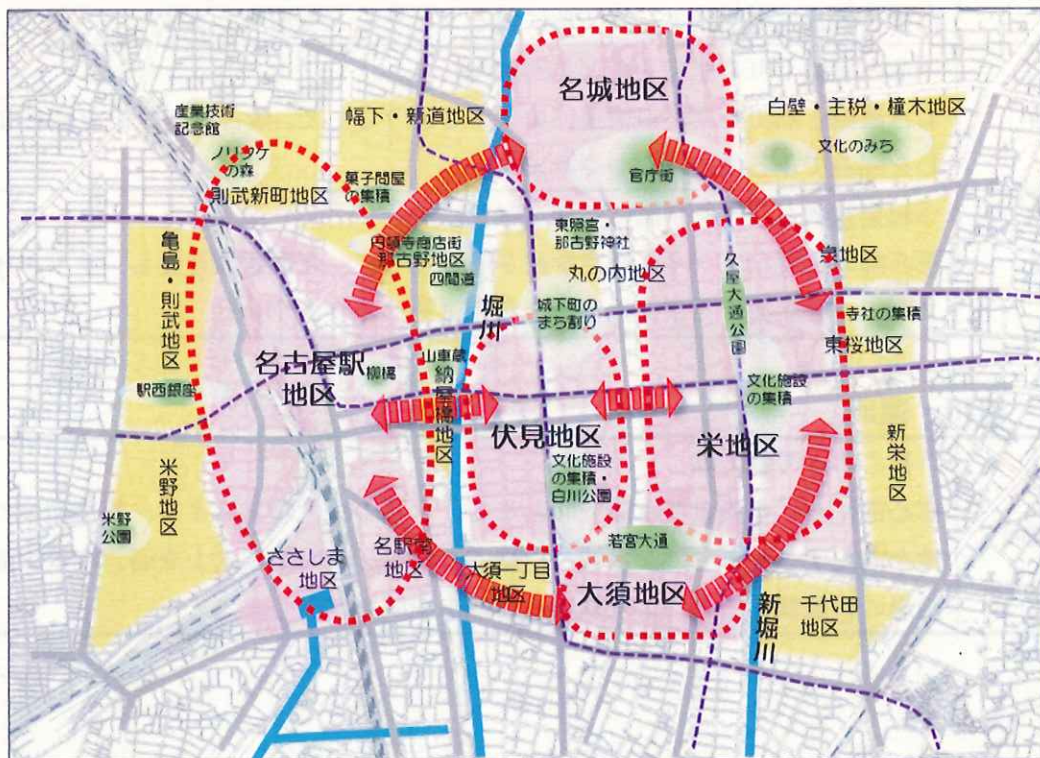
## 6. 拠点連携と都心界隈のまちづくり

### (1) 拠点連携と都心界隈のまちづくりの概要

#### ア 拠点連携と都心界隈のまちづくりの関係について



#### イ 拠点連携と都心界隈のエリア図





## (2) 拠点連携のまちづくり

### ア 名古屋駅地区～名城地区

四間道の歴史的街並み・下町情緒ある円頓寺商店街・堀川の水辺空間や城下町のまち割りなどを巡ることで、名古屋の歴史に想いを馳せながら、名古屋に来訪した人々を名古屋城まで導く歴史・観光の拠点連携

(拠点間にある界隈のイメージ)

那古野地区 : 円頓寺商店街の下町情緒や堀川と隣接する四間道沿いの土蔵群や町屋のた  
たずまいが往時の様子を今に伝える歴史のまち  
幅下・新道地区 : 菓子や玩具などの問屋街、扇子などの伝統的な手工業が集積する名古屋の  
伝統産業の雰囲気を残すまち

(実現に向けて)

- ・城下町の面影を今に伝える土蔵や町屋の保存活用やリノベーションの促進
- ・堀川も含めた歴史的な街並みの保全・誘導
- ・地区内を手軽に巡れる移動手段の確保

### イ 名古屋駅地区～伏見地区・大須地区

ビジネス機能の中核である名古屋駅地区と伏見地区・大須地区の中間地点において、各地区が相乗的に都市機能を向上させるための拠点連携

(拠点間にある界隈のイメージ)

納屋橋地区 : 堀川の水辺空間や城下町の名残をとどめる山車蔵や寺社のあるまち  
名駅南地区 : 大規模な低未利用地の土地利用が進むことにより、様々なひと・まち・文化  
がクロスし、クリエイティブな取組みが盛んなまち  
柳橋地区 : 名古屋駅至近に位置し、歴史ある市場を有する地域の食文化を支えるまち

(実現に向けて)

- ・老朽化したビルの建替え誘導やリノベーションなどによるベンチャー企業の起業促進
- ・空きオフィスのオーナーと起業者とのマッチング
- ・水辺の活用や緑化の推進による良好なビジネス環境の醸成
- ・公共施設整備による低未利用地等の土地利用転換の誘導

### ウ 栄地区～名城地区

天守閣木造復元や金シャチ横丁などで観光名所としての存在感を増す名城地区と再生される久屋大通の間の分断を解消し、来訪者の賑わいを結ぶ拠点連携

(拠点間にある界隈のイメージ)

白壁・主税・檀木地区 : 古くは武家地、明治期は陶磁器産業の中心地として栄え、近代洋風  
建築をはじめとする門・塀や豊かな緑が今なお残る閑静なまち

(実現に向けて)

- ・国の重要文化財である県・市庁舎の活用や休日における官庁街のオープンスペース開放などの検討
- ・近代建築が点在する「文化のみち」を有する白壁・主税・檀木地区も含め、両地区を有機的に結びつける方策の検討

## エ 伏見地区～栄地区

コンサートホールや美術館などが集積している伏見地区と栄地区に共通する特性を活かし、芸術や文化に親しむ人々の回遊を促す拠点連携

(実現に向けて)

- ・両地区で共通したテーマを設定することによる施設間の連携
- ・芸術・文化施設を訪れた人々をもてなす飲食店舗の集積

## オ 伏見地区・栄地区～大須地区

分断要素となっている若宮大通を白川公園も含めたオープンスペースとして活用することにより、栄地区・伏見地区と大須地区の間の人の流れを誘導する拠点連携

(実現に向けて)

- ・若宮大通の高架下のイベント活用・店舗等への貸付
- ・南北横断のしやすさ改善
- ・若宮パークのフリンジ駐車場としての利用促進

## (3) 都心界隈のまちづくり

### ア 名古屋駅北とつながる都心界隈

「則武新町地区のイメージ」

- ・ものづくり文化・歴史資産を活かした産業観光施設、豊かな緑の環境を備えた賑わい施設、都心居住を促進する共同住宅などが立地するまち

### イ 名古屋駅西とつながる都心界隈

「亀島・則武・米野地区のイメージ」

- ・名古屋駅に近接する利便性を活かし、共同住宅、戸建て住宅と生活を支える商業施設などが立地するまち
- ・名古屋駅と秀吉を偲ぶ中村公園をつなぐまち
- ・旧集落に由来する界隈性と防災公園のあるまち
- ・商店街等の賑わい軸を活かし、駅とのつながりを形成する歩いて楽しいまち

### ウ 都心北部の拠点とつながる都心界隈

「丸の内地区のイメージ」

- ・桜通沿道はオフィス街、北側は小規模オフィスも入る共同住宅が立地するまち
- ・名古屋城下の名残をとどめる那古野神社、東照宮のあるまち

## エ 都心南部の拠点とつながる都心界隈

### 「大須一丁目地区のイメージ」

- ・若宮大通沿道はオフィス、また南側は共同住宅が立地することにより、隣接する名古屋駅地区、大須地区、伏見地区とともに発展するまち

### 「千代田地区のイメージ」

- ・共同住宅に加え、大須、若宮大通、新堀川、鶴舞公園・名大病院に近接する地区として、オフィス、小規模店舗、小規模事業所等が集積するまち

## オ 栄東とつながる都心界隈

### 「泉・東桜・新栄地区のイメージ」

- ・栄地区に隣接する利便性を活かしたオフィスビルや共同住宅、それらを支える店舗等が立地するまち
- ・城下町東の寺町の名残をとどめる寺院のあるまち
- ・栄地区と一体となった個性的な都心のイメージを演出するまち



## 7. ビジョン実現に向けて

### (1) 民間投資の促進による都市機能誘導

目指すべきまちの将来像を実現するためには、必要となる都市機能を導入しなくてはなりません。開発計画の内容に応じた容積率の緩和をインセンティブとして付与し、民間投資を促進することにより、必要となる都市機能の導入を官民協働で図ります。

#### <都心部における土地の高度利用>

都心部のうち、特に名古屋駅地区・伏見地区・栄地区及びこの3つの拠点をつなぐ幹線道路の沿道においては、都市基盤や土地利用の状況を鑑みながら容積率を見直すとともに、地区計画等によって必要な都市機能の導入を誘導しつつ土地利用の健全な高度利用を図ることにより、圏域の中核としての拠点性を一層高めます。また、都心部全体においても、各拠点における土地利用の高度化の波及効果によって土地利用を活性化します。

(特に都心部において導入を促進したい都市機能)

- ・イノベーション創出を促進する MICE の開催などにつながるビジネス交流機能
- ・インバウンドを含む来訪者や MICE 開催の受け皿となる宿泊機能
- ・都心ならではの魅力を高める商業・娯楽・文化芸術施設などの集客機能
- ・賑わいの連続性を生み出す低層階で連担した店舗
- ・イノベーションや新たなビジネスの担い手となるクリエイティブな人材を集める快適で多様なオフィス
- ・大規模災害発生時における帰宅困難者の一時受け入れ施設や雨水貯留施設等の防災機能

#### <メリハリのある土地利用>

ただし、個性的な界隈については、都市の多彩な魅力を引き出すため、界限性を保全します。開発誘導と界限保全の両立を図る土地利用制度を検討し、メリハリのある土地利用を実現します。

### (2) まちづくりへの多様な主体による参画の促進

開発事業者だけでなく、地域住民によるまちづくり活動が、これからの都心のまちづくりにとって大きな力となります。エリアマネジメントによる公共施設の良好な管理や賑わいを創出するイベントの開催など、まちづくりへの多様な主体による参画を促進します。

#### <エリアマネジメント活動の支援>

地域で活動しているまちづくり団体等による、地域のまちづくり構想の策定、道路・公園などのクリーンアップキャンペーンやイベントの開催などの実施の支援により、地域のまちづくりを活性化させます。

## (参考) 名古屋市の主な取組み

### (1) 名古屋駅のスーパーターミナル化

世界最大の7000万人規模の交流圏となるスーパー・メガリージョンの中心で、多種・多様な人材がダイナミックに交流し、日本を支える新たな価値を創造する都市の玄関口として、様々なまちづくりプロジェクトをすすめています。



### (2) 久屋大通の再生

2027年度のリニア中央新幹線の開業までの期間を対象に、栄地区のまちづくりを実現するための基本方針として2013年に策定した「栄地区グランドビジョン」に基づき、栄地区の活性化の起爆剤として久屋大通の再生を進めています。

北エリア・テレビ塔エリアでは、Park-PFI制度を活用した整備運営事業者を公募し、2020年の供用開始を目指して、広場や魅力的な収益施設の整備などを行います。

また、南エリアについても、2020年以降の事業化を目指して検討を進めています。

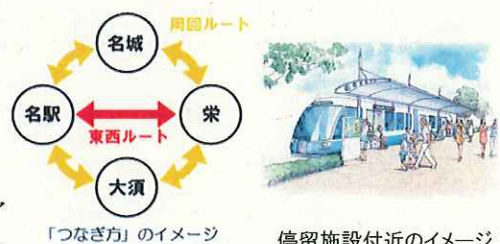


(テレビ塔エリアの再生イメージ)

### (3) 新たな路面公共交通システムの導入

「新たな路面公共交通システム」は、都心の魅力ある地域をつないで回遊性を高め、賑わいを面的に拡大するインフラです。

「わかりやすさ」「使いやすさ」「楽しさ」をを備え、成長性のある、革新的で魅力的なタイヤベースシステムの導入に向けた検討を進めています。



## 用語の解説

<p>スーパー・メガリージョン</p>	<p>メガリージョンとは、自治体よりも大きな単位での圏域を指す概念であり、東京、大阪、名古屋は既にメガリージョンと呼ばれる大都市圏域を作っているといえる。スーパー・メガリージョンは、その三大都市圏をそれぞれの持つ特徴を活かしつつリニア中央新幹線により一体化した世界最大の広域経済圏のこと。</p>
<p>イノベーション</p>	<p>技術革新。新機軸。経済成長の原動力となる革新。ここでいうイノベーションとは、単なる技術革新ではなく、従来のモノ、仕組み、組織を改革して社会的に意義のある新たな価値を創造する活動全般のこと。</p>
<p>SDGs</p>	<p>Sustainable Development Goals の略称。2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される。</p>